

I 令和2年度一般会計の決算状況

1 決算規模及び決算収支

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立に向けて、緊急に予算措置が必要な経費をはじめとした行政需要に対応するため、10回の補正予算を編成することで、当初予算686億4000万円(対前年度比+3.4%)に補正額190億123万3千円を追加し、令和元年度からの繰越予算24億251万5千円を含めた最終予算額を900億4374万8千円(対前年度比+27.7%)としました。

決算額は、歳入875億8087万7千円(対前年度比+28.6%)、歳出853億5494万8千円(対前年度比+29.1%)となり、歳入歳出差引額(形式収支)は、22億2592万9千円で、この形式収支から繰越明許費等に係る翌年度へ繰り越すべき財源6億8032万3千円を控除した実質収支(純剰余金)は、15億4560万6千円となりました。

令和2年度において、新型コロナウイルス感染症対策に係る決算額は、総額190億1545万6千円で、その内訳としては、「感染拡大の防止」として2億2530万9千円、「市民生活の安定」として172億4134万8千円、「市内経済の下支え」として8億6672万9千円、「社会変革の推進」として6億4668万5千円、その他3538万5千円となりました。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和2年度 a	令和元年度 b	比 較	
				a-b	a/b×100
歳 入 総 額	A	87,580,877	68,090,000	19,490,877	128.6%
歳 出 総 額	B	85,354,948	66,121,760	19,233,188	129.1%
歳入歳出差引額 (A-B)	C	2,225,929	1,968,240	257,689	113.1%
翌年度へ繰り越すべき財源	D	680,323	702,440	△ 22,117	96.9%
実 質 収 支 (C-D)	E	1,545,606	1,265,800	279,806	122.1%